

Weekly 原油情勢

改定幅予想(10/23～10/29)

-4.0～-3.0

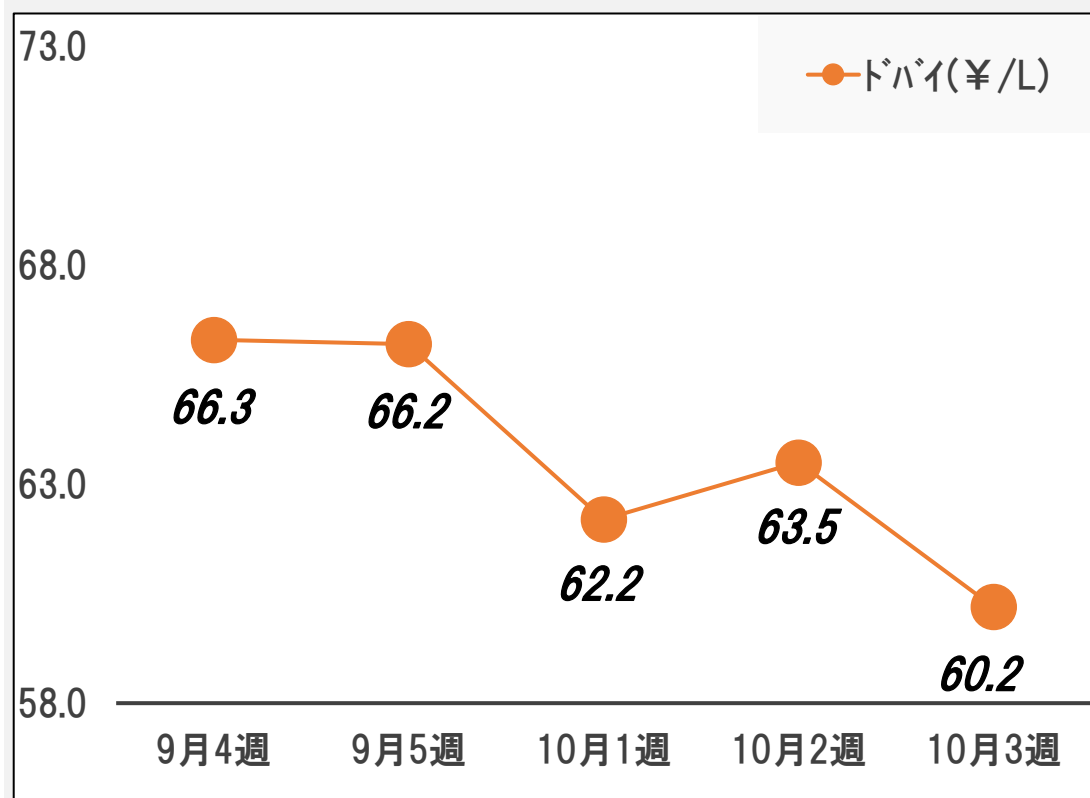
10月3週(10/14～10/20)トピックス

原油は続落。ロシアの地政学リスクに対する警戒感が和らぎ、売りが優勢となっている。

過去トピックス

- 9月4週▲ 原油市況は、売りが優勢となっているが、総じて動意薄。市場全体に様子見ムードが広がっている。
- 9月5週▲ 原油相場は上昇。米国の先物相場が上昇していることが上昇の一因となっている。また、ロシア産のエネルギーの供給が引き締まる可能性があることも強材料視。
- 10月1週▼ 原油相場は続落。需給が緩むとの警戒感が根強い。OPECプラスの有志8カ国が、11月に少なくとも日量13万7,000バレルの追加増産を実施する可能性あり。
- 10月2週▲ 原油は上昇。ロシアの供給懸念が強材料視されている。依然としてウクライナはロシアの製油所を標的に攻撃を行っており、一連の攻撃によりロシアの製油能力が大幅に低下している。

価格推移表



週	期間	ドバイ (\$/バレル)	為替 (TTS)	ドバイ (¥/L)	増減幅
9月4週	9/16～ 9/22	71.3	148.0	66.3	0.9
9月5週	9/23～ 9/29	70.5	149.3	66.2	-0.1
10月1週	9/30～ 10/6	66.4	148.9	62.2	-4.0
10月2週	10/7～ 10/13	66.0	152.8	63.5	1.3
10月3週	10/14～ 10/20	62.7	152.6	60.2	-3.3

「FUJISHO BLACK LABEL」ホームページはこちらよりアクセス

